とくしまの教育

No.438
2018

平成30年６月　発行：徳島県教育委員会

教育長からのメッセージ

徳島県教育委員会
教育長
美馬（みま）　持仁（よしひと）

教育長の美馬でございます。教職員のみなさんには、学校における様々な教育活動に日々献身的に取り組まれ、徳島の未来を担う子どもたちの育成に多大なご貢献をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、近年、科学技術の進歩やグローバル化の進展など、子どもたちを取り巻く社会は急速に変化しており、「10年後、20年後の未来を生きる子どもたちに必要な力とは何か」があちらこちらで議論されています。国立情報学研究所の新井紀子教授は、その著書「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」（東洋経済新報社）の中で、AI（人工知能）と人間が共存する社会を的確に予測し、そこで生き抜いていくために必要な力を「読解力」（情報を読み解く力）であるとし、日本の教育の現状に警鐘を鳴らしています。

このような中、いよいよ平成32年度の小学校を皮切りに中学校、高等学校と順次新学習指導要領が施行される運びとなり、小中学校では今年度から移行期間が始まりました。また、高大接続においても、現在の高校１年生から「大学入試共通テスト」が実施されることになっており、マークシート方式に加えて記述式の問題が出題されるほか、英語の４技能（読む・聞く・話す・書く）を評価するため、民間テストが活用されるなど、我が国の初等中等教育は大きな転換点を迎えようとしています。

一方、徳島県教育委員会においては、本年３月に「徳島教育大綱」の行動計画として位置づけられる「徳島県教育振興計画　第３期」を策定し、これからの５年間に本県が目指す教育の具体を示したところです。今後は本計画に則って徳島の教育力を結集し、「徳島の未来を切り拓く、夢あふれる『人財』の育成」に邁進してまいりますので、教職員のみなさんにもご協力と積極的な取組をお願い申し上げます。

最後に、先の国会で、４年後から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられることが正式に決定しました。今後はキャリア教育や消費者教育、主権者教育等の一層の充実が求められております。折しも教職員の働き方改革を推進していく中、効率的、効果的な教育を考える上で、キーワードとなるのが縦横の連携、即ち「幼小中高の連携」と「家庭や地域、関係機関との連携」です。教育が大きく変わろうとする今こそ、県民総ぐるみで子どもたちの未来を切り拓いていきましょう。

徳島県教育振興計画（第３期）を策定しました

基本方針　**とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる「人財」の育成**

重点項目Ⅰ　地方創生から日本創成へ！
「徳島ならでは」の教育の推進

〈推進項目①〉
個性、可能性を最大限に伸ばす教育の推進

ウィンターキャンプ
スーパーオンリーワン
お接待

〈推進項目②〉
人口減少社会に挑戦する
「徳島モデル」の学校づくり

デュアルスクール

〈推進項目③〉
災害を迎え撃つ
防災教育の推進

防災学習

重点項目Ⅱ　一人ひとりが輝く！
徳島の未来を育む教育の推進

〈推進項目①〉
確かな学力、豊かな心、
健やかな体の育成

食　育

〈推進項目②〉
学校・家庭・地域が協働で
取り組む教育の推進

親なびプログラム

〈推進項目③〉
時代の潮流を見据えた学びの推進

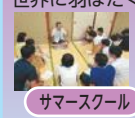
６次産業化　エシカル消費　主権者教育

重点項目Ⅲ　グローバル社会で活躍！
徳島から 世界への扉をひらく教育の推進

〈推進項目①〉
徳島を愛する心の育成と
「とくしま回帰」の促進

あわっ子文化大使

〈推進項目②〉
世界に羽ばたくグローカル人財の育成



サマースクール　ジュニア観光ガイド養成　イングリッシュキャンプ

〈推進項目③〉
国際舞台で躍動するアスリート、
アーティストの育成

トップアスリート育成

県と市町村、学校、家庭、地域、NPO、民間事業者、その他関係機関等の多様な主体が連携・協働することにより、
本県総ぐるみで次代を担う子どもたちの教育に取り組みます。

学校教育改革の動向とその対応について

小学校英語教育の早期化・教科化

小学校での英語教育は、これまで、5・6年生で年間35コマの「外国語活動」として行われてきましたが、新学習指導要領において、3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で教科「外国語」として行われることが示され、平成32(2020)年度からの全面実施に向けて今年度から2年間の移行期間に入りました。

	文部科学省教材	年間授業時数(移行期間)	年間授業時数(H32～)	特徴
3・4年生「外国語活動」	「Let's Try!」	15～35コマ	35コマ	「聞くこと」「話すこと」を中心として、外国語に慣れ親しませ、外国語学習への動機付けを高める。
5・6年生「外国語」	「Hi,friends!」「We Can!」	50～70コマ	70コマ	発達段階に応じて段階的に文字を「読むこと」「書くこと」を加えて4技能を総合的・系統的に扱う教科学習を行い、中学校への接続を図る。

3・4年生用教材「Let's Try!」

5・6年生用教材「We Can!」

◀徳島県作成デジタル補助教材「HAVE FUN in TOKUSHIMA」

これまでの「外国語活動」で培った指導方法や教材を生かし、コミュニケーションの目的や場面、状況の設定を工夫した授業開発・実践をお願いします。県では、ふるさと徳島の魅力を発信するためのデジタル補助教材「HAVE FUN in TOKUSHIMA」を作成して昨年度末に各小学校に配布しています。是非授業で御活用ください。

考え、議論する道徳の実現

「指導の手引」の活用について

中学校用「指導の手引」

今年度（平成30年度)より、小学校及び特別支援学校小学部は、「特別の教科　道徳」(道徳科)が全面実施となりました。また、中学校及び特別支援学校中学部においても、来年度(平成31年度）から、全面実施となります。

学習指導要領では、いじめの問題に対する対応の充実や、発達段階を踏まえた体系的な内容、指導方法の工夫改善の重要性などが示されています。

「指導の手引」を活用し、「考え、議論する道徳」の実現に向けた、授業における工夫改善をお図りください。

大学入試が大きく変わります！

受験生の「学力の3要素」について、多面的・総合的に評価する入試に転換

平成32年度から実施(2020)

「知識・技能」
「思考力・判断力・表現力」
「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

○「大学入学共通テスト」（現行のセンター試験を廃止）
- ●国語、数学に記述式問題を導入
- ●英語は「聞く・読む・話す・書く」の4技能を民間の資格・検定試験で評価

○「個別入学者選抜」
- ●新たなルールの設定（AO入試・推薦入試の制度や調査書の記載内容の改善等）

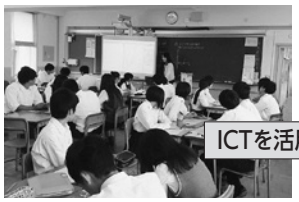
徳島県教育の情報化推進指針の策定について

第4次産業革命時代の到来や新学習指導要領への対応に向けて

指針の期間：平成30年度から平成32年度まで

問い合わせ：
総合教育センター
教育情報課
☎088-672-5064

学校における教育の情報化の推進



情報活用能力の育成
- 情報モラル教育の充実
- プログラミング教育の充実

ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の充実

校務の情報化

「学びの改善」のためのICT活用

家庭・地域との連携

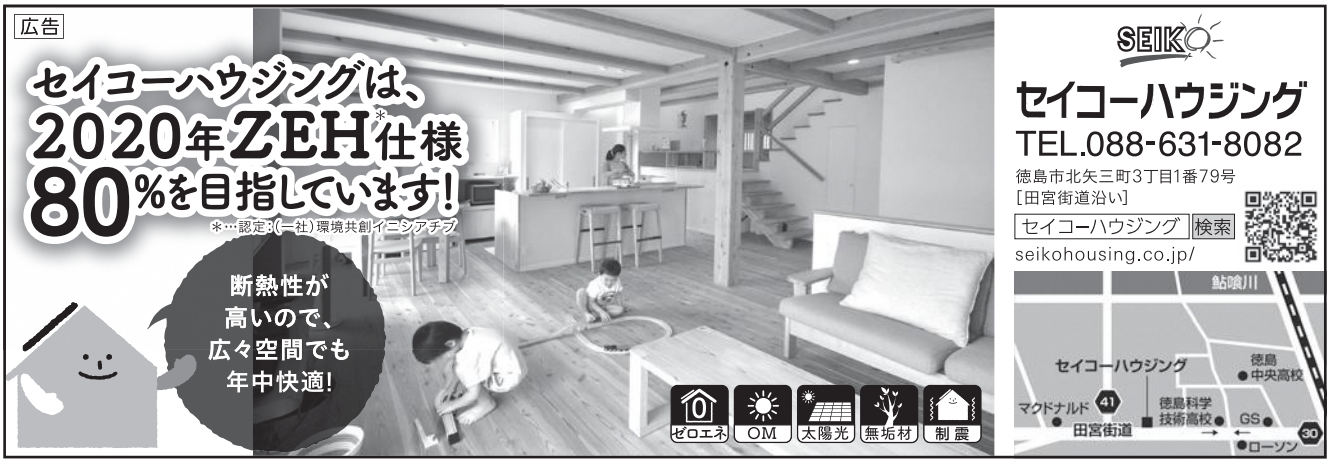
教育の情報化を支える基盤

教員のICT指導力の向上
プログラミング教育研修
ICT活用推進研修等

学校のICT環境の整備
ネットワーク環境の充実
無線LAN環境の整備
校務用、指導者用コンピュータ　等

情報セキュリティ
情報セキュリティポリシーの策定
組織体制の確立

広告



「とくしま教職員研修」が再構築されました

「とくしま教員育成指標」を踏まえて、「とくしま教職員研修」が新しくなりました。

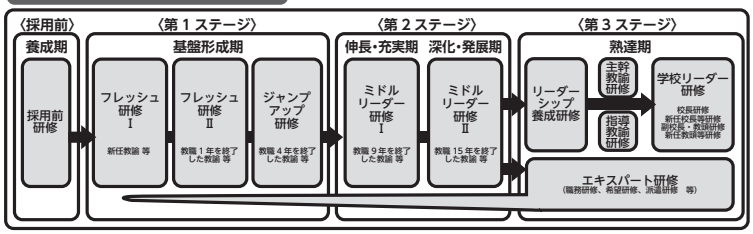
●本県の目指す教職員像

「とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる『人財』の育成」を目指し、主体的に学び続け、自己を高める教職員

●研修の再構築について

- **採用前研修**の新設
- 初任者研修→**フレッシュ研修Ⅰ**
- 授業力向上研修→**フレッシュ研修Ⅱ**
- 教職５年次研修→**ジャンプアップ研修**
- 中堅教諭等資質向上研修→**ミドルリーダー研修Ⅰ**
  →**ミドルリーダー研修Ⅱ**
- **リーダーシップ養成研修**の新設
- **エキスパート研修**としてベテラン教職員等の学び続ける機会の充実
- 新任教頭等研修の拡充

キャリアステージに応じた研修



目的やニーズに応じた研修

職務研修 ／ 希望研修 ／ 特別研修 ／ 推薦研修 ／ 大学・研究機関等研修 ／ 教育職員免許法認定講習 ／ 派遣研修

●「Off-JT」「OJT」「SD（自己啓発）」の関連を図り、組織的な人材の育成に取り組んでいくことが重要です。

健全で持続可能な社会の発展を担う人材を育成する「徳島モデル」の消費者教育の推進

○消費者庁作成教材「社会への扉」を活用した授業の実施

「社会への扉」は、消費者庁が成年年齢の引下げが論議されていることを踏まえ、消費者として主体的に判断し責任を持って行動できる能力を育むことを目的に作成された教材です。昨年度、県内の全ての高等学校等で、全国に先駆けて「社会への扉」を活用した授業を実施しました。今後、消費者庁では徳島県での実証結果について全国に情報を提供し、全都道府県の全ての高等学校等において「社会への扉」を活用した授業が行われる予定です。

「社会への扉」

「社会への扉」を活用した授業の様子

○「Go! Go! エシカル」わくわく徳島プロジェクト

持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動することができる消費者力の育成を図ります。

「実践報告集」冊子・リーフレット

「エシカルクラブ」パネル展

●平成29年度の取組例●

「エシカル消費」リーディングスクール
- 本藍染め商品の開発、伝統野菜を使った調理法の研究、有機農法により栽培された作物を使った安全安心な商品の開発など

「エシカルクラブ」
- 文化祭での啓発活動、地産地消の研究、被災地支援バザー、環境保全活動など

●今年度の取組●

「エシカル消費」リーディングスクール
城西高校・吉野川高校（継続）
城ノ内高校（新規）

「エシカルクラブ」
12校は継続で、新たに16校での取組が始まります。

学校における働き方改革を推進します

学校における働き方改革タスクフォースによる報告書

業務の適正化によって教育力の向上を図り、**持続可能な学校づくり**を進めます。

5つの柱

(1) 勤務時間の管理と意識改革
(2) 業務改善の推進
(3) 外部人材等の活用
(4) 部活動の適正化
(5) 保護者・地域への理解促進

具現化

県 ／ 市町村 ／ 学校 → 推進チームを結成

- 学校の実態に応じた業務改善の推進
- 情報発信

「勤務時間を意識した働き方」に関する取組事例

平成29年度業務改善実践事例（グループ表彰）
牟岐小「カエル時刻の設定とパブリックスペースの有効活用」

●出勤時に、職員一人一人が、カエル時刻を自分で設定し、職員室机上にそれを明示したカードを掲示する。朝に1日の業務の見通しと、どの業務を優先するか順位を設定することで、自分の勤務時間を意識した計画的な業務遂行を推進した。

各学校においても、創意工夫により業務改善に努めてください。

●「パブリックスペース」ロッカー上部を整理し、カードを見やすくすると共に職員間の立ちミーティング場所として活用することができている。

広告

24時間急患受付体制 入院設備も完備

水晶体再建術、緑内障手術、角膜移植術、網膜復位術などを外来および入院で行っています。

長時間のパソコン使用やドライアイなどによる目の疲れ・諸症状に眼精疲労治療を行っています。

手術をしない 視力矯正法
「オルソケラトロジー」施行
詳しくはご相談ください。

※オルソケラトロジーは自由診療です。
自由診療については全額自費負担になります。
※費用／両眼で15万円（税込）

医療法人 山田眼科

徳島市中通町2丁目31（えびす神社近く）

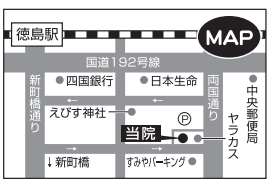
☎ (088)652-4843

http://www.eye-yamada.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	／	○	○

※土曜日の午後は13:30～17:30です。
※午後～予約可

休診日 木曜午後・日曜・祝祭日



平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰について

文部科学省は、学校教育における教育実践等に優れた成果を上げた教職員について、その功績を表彰するとともに広く周知し、あわせて我が国の教職員の意欲及び資質の向上に資することを目的として、文部科学大臣優秀教職員表彰を実施しており、平成29年度は、全国で734名の教職員と38の教職員組織が表彰されました。

本県公立学校関係では、次の教職員と教職員組織が表彰され、平成30年２月19日に徳島県庁において表彰伝達式が行われました。

今後とも、教育に対する情熱と力量を遺憾なく発揮され、他の教職員の目標となる存在として、ますます御活躍されることを期待しています。

平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰伝達式

表彰を受けた教職員組織

●**徳島県立新野高等学校（新野高校環境教育推進チーム）**
実践分野：地域連携・協働の推進
活動内容：環境教育の取組として、バイオテクノロジー技術を活用した希少植物「イシマササユリ」の保護活動を30年以上に渡って継続し、地域と連携して環境保全に取り組んでいる。

教職員表彰を受けた皆さん
（役職・学校名については、平成29年度当時です。）

●**元木　宏治　教諭**（徳島市富田小学校）
実践分野：生徒指導・進路指導

●**武市　　隆　教諭**（石井町浦庄小学校）
実践分野：学習指導

●**三宅　　剛　教諭**（阿波市立一条小学校）
実践分野：学習指導

●**西　　健治　教諭**（小松島市小松島中学校）
実践分野：生徒指導・進路指導

●**藤田　勝久　主幹教諭**（美馬市立美馬中学校）
実践分野：特別活動・部活動指導

●**菱木　弥美　教諭**（徳島県立阿波西高等学校）
実践分野：学校運営の改善

●**中山　育美　教諭**（徳島県立徳島聴覚支援学校）
実践分野：特別支援教育

すべての子どもの人権が尊重される学校づくり

「性の多様性を理解するために－教職員用ハンドブック－」の活用

平成27年の文科省通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」には、いわゆる「性的マイノリティ」とされる児童生徒の不安や悩みを受け止めるために、教職員の理解を促進することが必要であると示しています。教職員の理解を促進し、多様性を認め合う人権教育を推進するために、ハンドブックを作成しました。性の多様性について分かりやすく説明し、指導事例も掲載しています。すべての子どもの人権が尊重される学校づくりのために、御活用ください。

◆問い合わせ先：人権教育課教育推進担当　☎088-621-3157

教職員が団結し、指導が楽しくなる スクールワイドＰＢＳ

徳島県教育委員会では、ポジティブな行動支援の考え方の浸透を図るために、スクールワイドPBSの取組を進めています。今年度は、県内の小学校８校が取り組んでいます。

取り組んだ学校からは、次のような報告がありました。

- 教職員が一致団結し、児童のよいところを見つけてほめ上手になった。
- 学習規律が向上し、児童の主体的な活動が増え、学級が落ち着いた。
- 学校が楽しいと感じる児童が増え、周りの友だちにもよい関わりができるようになった。

◆スクールワイドPBSを学校に導入するためのパンフレットや各種教材は、総合教育センターのホームページから取得できます。是非御一読いただき、各学校での取組に御活用ください。
URL：http://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/

「すだちくん森のシアター」の利用について

文化の森野外劇場は、平成30年４月に「すだちくん森のシアター」として新しく生まれ変わりました。

膜構造屋根の新設により、1,000人規模の催しが可能な全天候型の円形劇場となるとともに、専用楽屋やステージバトンなど、舞台周辺の設備を充実させる機能強化を行うことで、利便性が飛躍的に向上しました。

自然豊かな環境の中にある「すだちくん森のシアター」を、コンサートや演劇をはじめ学校での学習活動及び文化活動にぜひ御利用ください。

◆徳島県立二十一世紀館　http://www.21ccic.tokushima-ec.ed.jp/　☎088-668-1111

新教育委員の紹介

小林（こばやし）　信行（のぶゆき）氏
●任期
平成29年8月8日～
平成33年8月7日
徳島県ラグビーフットボール協会理事長

河口（かわぐち）　雅子（まさこ）氏
●任期
平成29年12月28日～
平成33年12月27日
徳島文理大学人間生活学部児童学科長

コンプライアンスの推進について

本年度は、不祥事根絶対策タスクフォースからの提言の「具現化」を推進し、コンプライアンス推進体制のさらなる充実を図ります。また、平成29年度より、新たに市町村教育委員会と連携したコンプライアンス研修を実施するとともに、これまでどおり各校からの要請による研修も行っています。より多くの教職員が研修に参加し、コンプライアンス意識を向上させることで、「信頼される学校・教職員」をめざしていきましょう。

※Webサイト「コンプライアンス研修のページ」を活用いただくとともに、御質問等があれば当室までお気軽に御相談ください。

◆「コンプライアンス研修のページ」
URL http://compliancetraining.tokushima-ec.ed.jp/
（徳島県教育委員会コンプライアンス推進室
☎088-621-2773）

広告

泌尿器科
血液透析濾過（HDF）

◆排尿異常には「尿流動態検査」
前立腺肥大症には「PVP」
尿路結石には「f-TUL」等が実施できます
◆手術実績をホームページ上に公開しています

医療法人 尽心会
亀井病院
院長 神山有史 麻酔科標榜医
徳島市八万町寺山 231 Tel.088-668-1177
http://www.kameihospital.com/